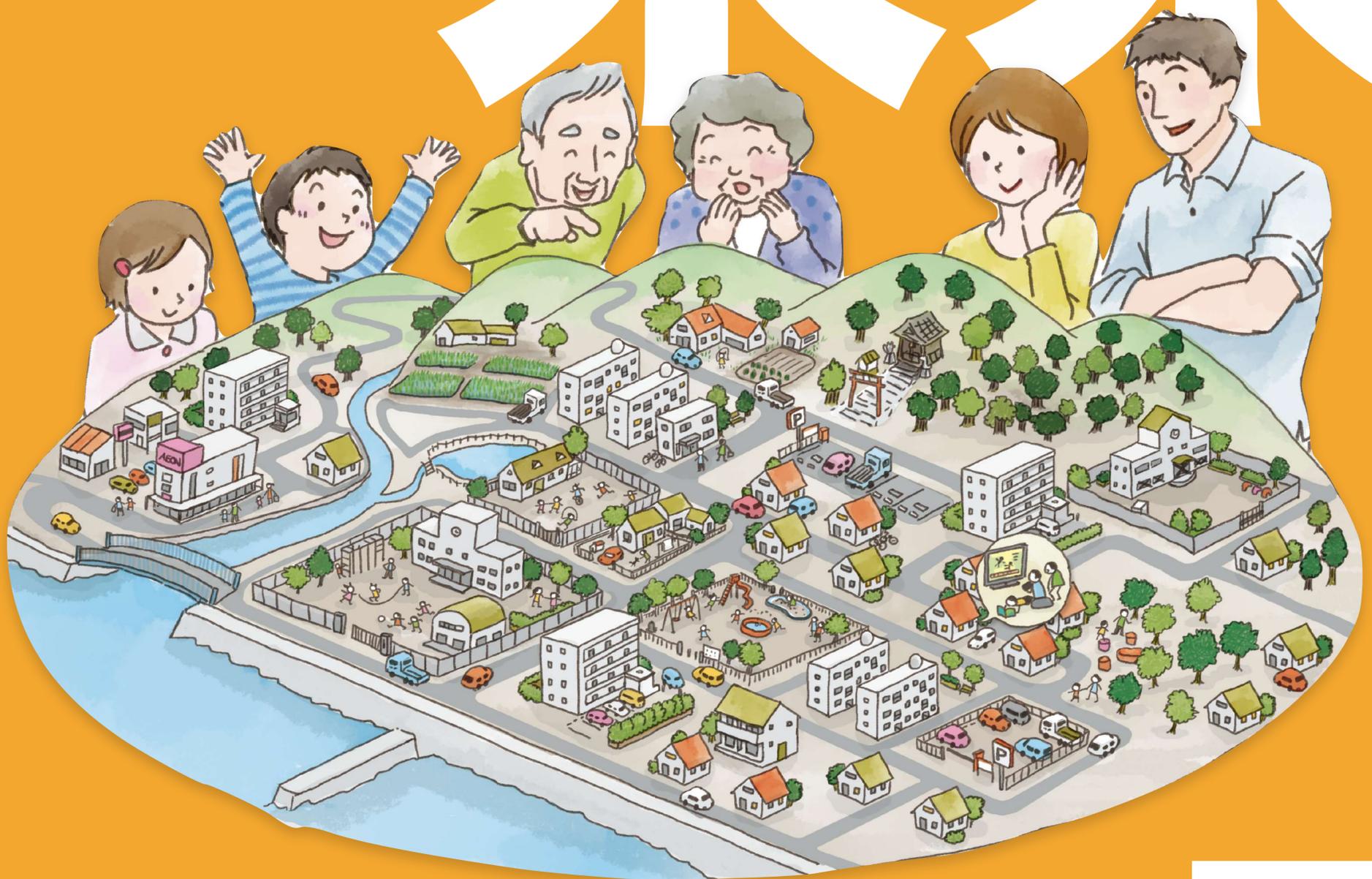


— どのような未来を描きますか —

# 外遊びの未来



一般社団法人

プレーワーカーズ



## ご挨拶

このパネルは、宮城県気仙沼市でのアンケート調査に基づき作成しました。約5000名（7749名配布）の小学生・親・祖父母世代の皆様のご回答、気仙沼市教育委員会の協力、そして長年に渡り「子どもの遊びとまちづくり」の研究をしてきた千葉大学園芸学部地域計画学-木下勇研究室の監修のもと、実施することができました。その他、様々な方々にお世話になりました。

ご協力いただいた皆様、心より御礼申し上げます。

この調査を通して、子どもの遊びの実態が困難な状況にあることを改めて確認できたとともに、子どもの外遊びに対して思いを持つ方が大勢いる事が分かりました。

アンケート結果は、悲観的な数字も多いかもしれませんが。しかし一つのスタートとして皆さんと共に前進していければと思っております。

一般社団法人

**プレーワーカーズ**

<http://playworkers.org/>

みなさんは、どのような未来を描きますか。

# 外遊びの未来

次のことを想像しながら展示を見ていただくと幸いです。



皆さんは、どう思いますか？

アンケート結果を見て、どのような気持ちになりますか？



10年後は、  
どのようになると思いますか？

この結果を受けて、  
近い将来子どもの外遊びはどのようになると思いますか？

※このパネルは、小学生の放課後を主な対象とし、  
アンケート調査より得られた情報から作成しております。

友だち

いなかしい

2 割



みなさんへ聞いてみたいこと

ご自身が子ども時代に遊んでいたとき、友だちはどれほど大切でしたか？

# 放課後の遊び友達



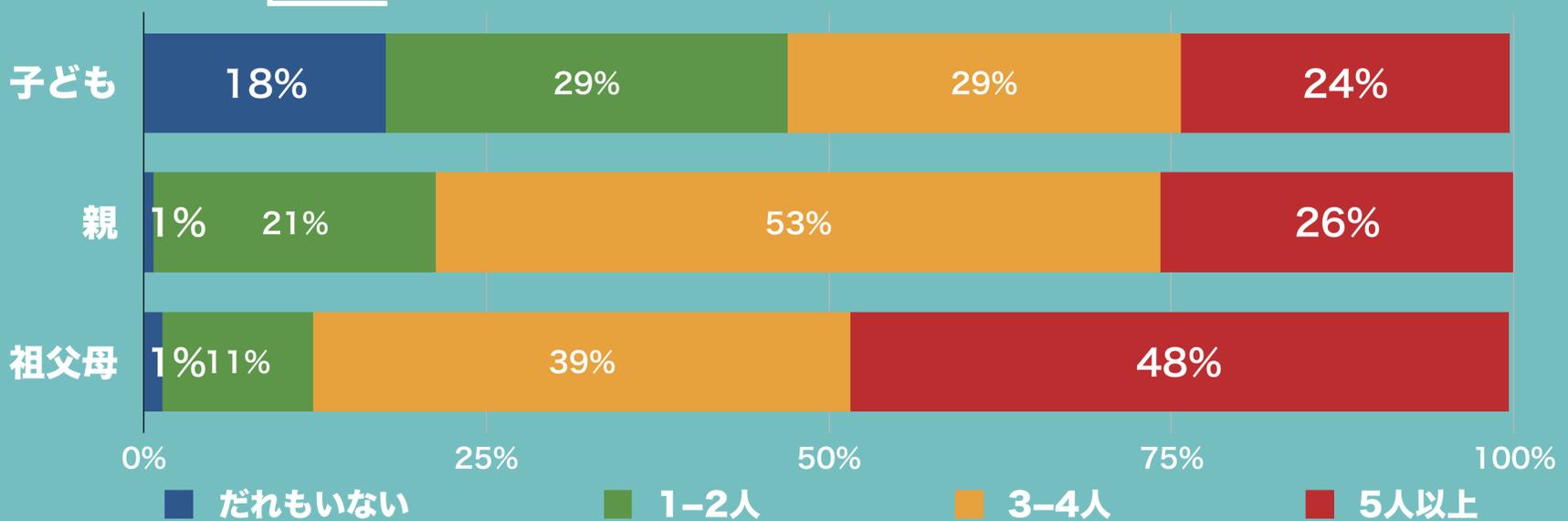
## 友だちいない2割



学校には友だちいるけど、家の近くにいない。  
たまに車で連れて行ってもらって遊びに行くかな。  
それ以外は一人でできる遊びをしてるよ。



### 放課後に遊ぶ友だちの人数



### グラフを読む

遊びの人数が小規模になっていることが伺えます。祖父母世代では5人以上、親世代では3-4人が半数以上を占めていますが、子ども世代ではばらつきが見られ二極化の傾向が見られます。



### 現実的なところ

かわいそうだと思うけど親も仕事なので、私と一緒にいてもらっています。学童・児童館で、他の友だちと遊べるようですが…



### あなたの思い、どれに近いですか？



1. 一人でもいいのでは。
2. やはり友だちと遊べるような環境は重要。
3. その他

# 外遊び

# しなしい、

# 8 虫割



みなさんへ聞いてみたいこと

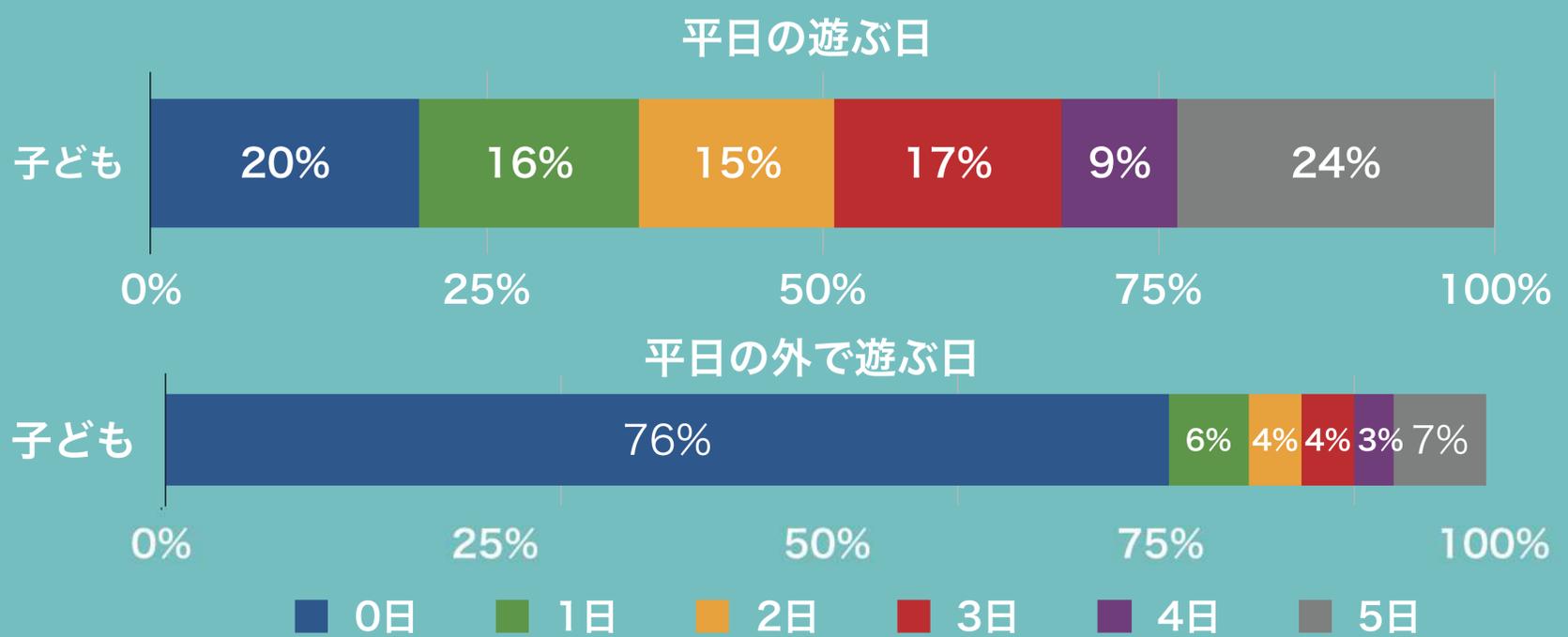
皆さんは最近、まちの中で遊んでいる子どもたちを見かけましたか？

# 放課後の遊び時間

放課後の外遊びをしない子が8割…



うちの孫は、スポーツや習い事で忙しいからね。  
私の頃は、よく遊んだもんだけれど  
外遊びは、もう古臭いのかしら。



## グラフを読む

子どもの遊びの時間は二極化していることが伺える一方で、外遊びの割合は、0日に集中しています。



## 現実的なところ

たくさん遊んでほしいけれど  
将来を考えるとスポーツや勉強  
は重要ですね。遊んでいても  
ゲームをやるだけだろうし。



## あなたの思い、どれに近いですか？



1. 遊びはほどほどに、やはりスポーツや勉強を重視すべき。
2. 習い事はほどほどに、自由な時間も大切にしたい。
3. その他

# 自然



# 遊ばない、

# 9 割



みなさんへ聞いてみたいこと

子ども時代の遊びの思い出の中で、どのような経験が一番印象に残っていますか？

# 放課後の遊び空間

遊ぶ場所は、室内や施設に限定されています。



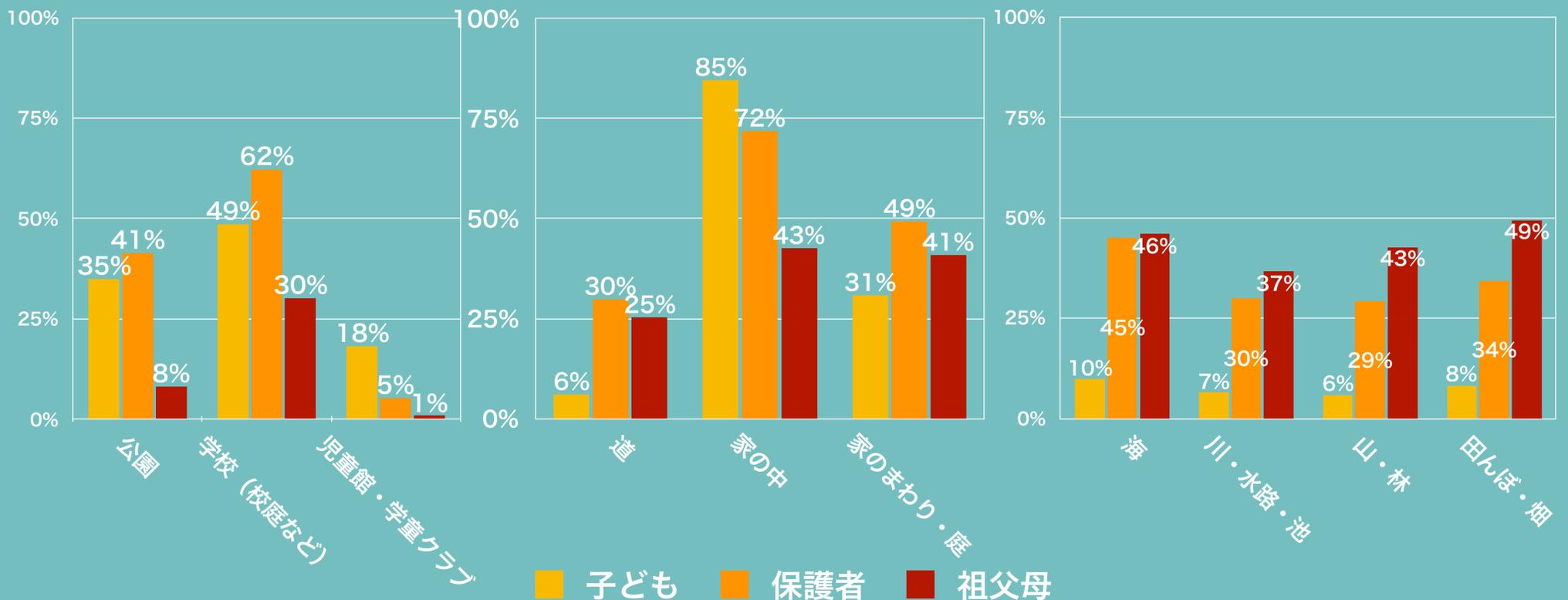
わたしのころは、まち全体が遊び場じゃった。  
自然で遊ばなくなるのは悲しいが、  
時代が違うから仕方がないのかねえ。



### 公的施設の遊び場

### 家の周りの遊び場

### 自然の遊び場



## グラフを読む

遊び場は、多世代では様々なスペースに展開しているのに対して、子ども世代では家・公園に集中しており、自然空間での遊びは極めて限定されています。



## 現実的なところ

公園や学校だけではなく、山や川、海など、まち全体が遊び場だった私たちの時代に比べて、今は何かと不安ですから、ある意味安心ですね。



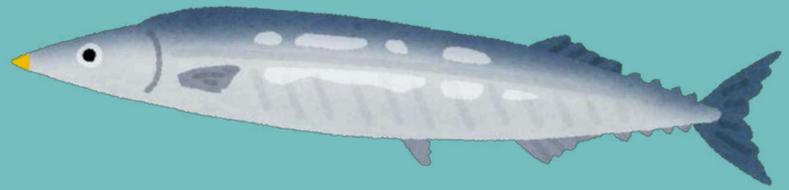
## あなたの思い、どれに近いですか？



1. 自然で遊ばなくなったのは、悲しい。
2. 安全な場所で遊んでいるので、安心。
3. その他



# 遊びのさんま？



子どもの遊びを考える

子どもの遊びの  
”さんま” = 三間



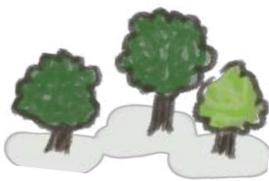
**時間**

遊ぶ時間のこと



**仲間**

遊ぶ友達のこと



**空間**

遊ぶ場所のこと

この3つの間が関わり合いながら  
遊びが決まっていきます。



# 自由に遊べる 7割



みなさんへ聞いてみたいこと

皆さんが子どものころは、自由に遊べていましたか？

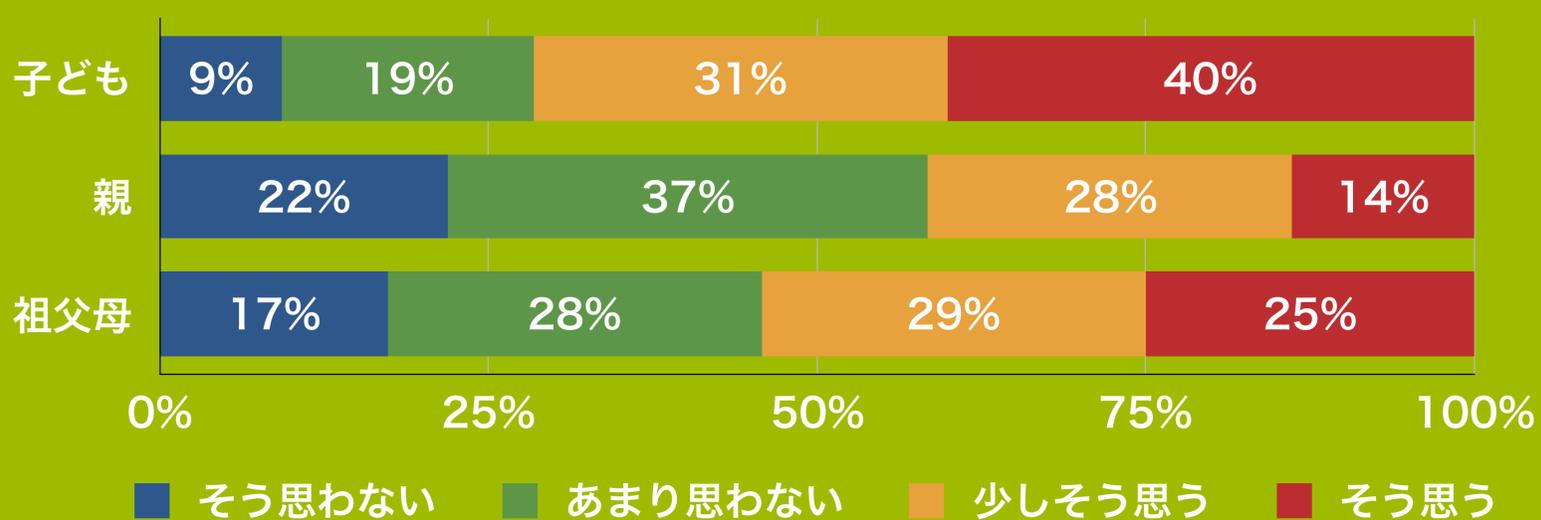
# 遊びに対する意識

「自由に遊べていると思う」が7割…

子どもたちは満足して遊ぶことができているのね。  
禁止事項や遊ぶ時間がないとか言うわりには高いわね…。



(今の子どもは) 自由に遊ぶことができている。



## グラフを読む

子ども世代の7割が肯定的な思いを持っているのに対し、親世代では半数以上が、「子どもが自由に遊べていると思う」に対して否定的です。



## 現実的なところ

子どもは友達とゲームを楽しんで満足しているようだけど、親としてはもっと自由に遊んで欲しい。けれど、どうしたらいいの？



## あなたの思い、どれに近いですか？



1. 子どもがそう思うなら、自由だと思う。
2. もっと遊べるようになると、自由と感じなくなるのでは。
3. その他



禁止事項



早稲穂は

あえる？



みなさんへ聞いてみたいこと

皆さんが子どもの頃は、禁止事項を守っていましたか？

# 遊びの禁止事項

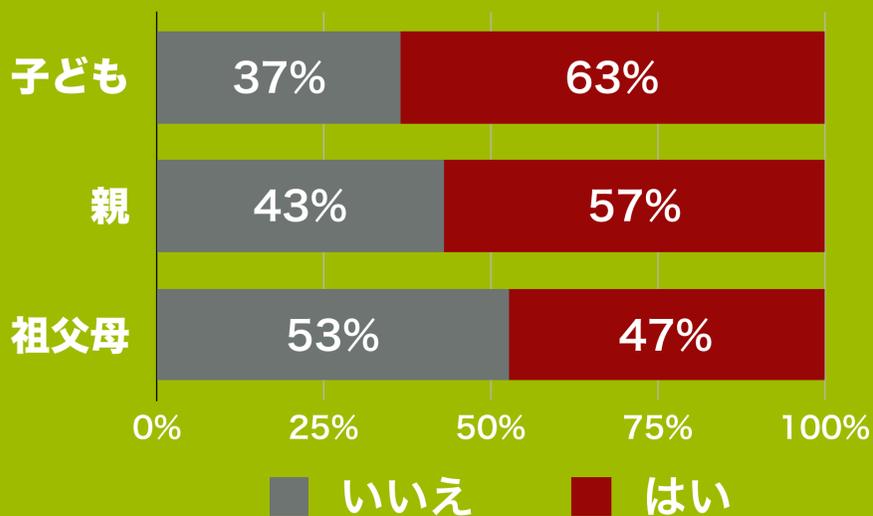
禁止事項は微増。違いは何か。



川で遊ぼうと思ったことはないけれど、  
「川で遊ぶな」っていうから、  
よくわからないけれど、危ないのね。

※人気のキーワードを選出

## 禁止事項があるか、ないか



	子ども世代		親世代		祖父母世代	
	誰から	N	誰から	N	誰から	N
1	母	653	両親	551	両親	347
2	両親	380	母	382	母	179
3	先生	165	祖母	103	父	51

	子ども世代		親世代		祖父母世代	
	何を	N	何を	N	何を	N
1	火遊び	653	火遊び	292	火遊び	150
2	道路で遊ぶ	380	道路で遊ぶ	76	川で遊ぶ	34
3	川で遊ぶ	165	川で遊ぶ	61	海で遊ぶ	34



## グラフを読む

禁止事項は、世代が若くなるにつれて微増していますが、大きく増えているわけではありません。禁止事項の内容も大きく変わることがないのも共通点として挙げられます。



## 現実的なところ

昔、年上の兄さんについて行って川で遊んでたな。じいちゃんも危ない場所を教えてくれて、見守ってくれたな。今でもその風景を思い出せるよ。



## あなたの思い、どれに近いですか？



1. 禁止を減らせば、子どもたちは遊ぶようになると思う。
2. 禁止が主な理由ではなくて、禁止になっているような遊びにそもそも興味がなさそう。
3. その他

# 遊びは



# 画面で

# 通信で



みなさんへ聞いてみたいこと

皆さんが子どもの頃に、ゲームがあったら、たくさんやっていたと思いますか？

# よくする遊び

## ゲーム以外は意外と似ている

父さんのころにゲームが出てきて、よく遊んだよ。  
同じくらい外でも遊んだけど、今はどうなんだろう？



	誰から	N	誰から	N	誰から	N
	子ども世代		親世代		祖父母世代	
1	ゲーム	721	鬼ごっこ	415	かくれんぼ	309
2	鬼ごっこ	501	かくれんぼ	260	縄跳び	219
3	サッカー	300	自転車	238	鬼ごっこ	216
4	ドッジボール	172	野球	201	野球	144
5	自転車	153	ゲーム	172	おはじき	106
6	縄跳び	140	縄跳び	134	缶蹴り	101
7	かくれんぼ	108	ままごと	131	陣取り	95
8	野球	102	缶蹴り	131	お手玉	91
9	ブランコ	101	サッカー	115	石蹴り	87
10	トランプ	72	ゴム飛び	95	ビー玉	61



### グラフを読む

よくする遊びについて、子ども世代ではゲームが人気です。一方でそれ以外は、似た遊び・スポーツ名が多く並んでいます。



### 現実的なところ

最近では自分の家においても、友だちや全国の人とゲームを楽しめるようだね。技術の進歩と少子化を考えると、さらに家に一人でいても楽しめる環境ができていきそうですね。



### あなたの思い、どれに近いですか？



1. さらにゲームやロボットなど機械を介した遊びを増やすべき。
2. 地域の自然を活かしながら、実体験を増やすべき。
3. その他

# いかがでしたか？ そして、外遊びの未来

？ 皆さんは、どう思いましたか？  
アンケート結果を見て、どのような気持ちになりましたか？

？ 10年後は、  
どのようになると思いましたか？  
この結果を受けて、  
近い将来子どもの外遊びはどのようになると思いましたか？



みなさんは、  
どのように未来を描きなおしたいですか？

例えば

10年後には……

このような公園ができたりするのでしょうか。

# みんなが集まれて ゲームができる公園



- ・ ロボットが安全管理。誰が何時までいたか、把握することが出来ます。
- ・ Wifiや電源はソーラーパネルの電力でまかなうことができます。
- ・ ゲームにあきたら、体を動かすような遊具やスペースもあります。
- ・ ゲーム時間が長いと自動的に体を動かすことが画面で指示されます。

技術の進歩と低価格の商品が多く手に入るようになった今、  
笑い話ではなく、本当にできてしまう世の中になるかも知れません。

**ただ、このような選択をするか否かは、  
私たちが“どのようにしていきたいか”次第です。**

# 外遊び

# 無駄な

# 時間？



10年後に、

子どもたちは、どのように外で遊んでいると思いますか？

# メッセージ

## 外遊び≠無駄な時間 その人・地域の文化をつくる源だ！

子どもの外遊びは、  
”子どもと社会が繋がる初めの一步”でもあります。  
その一步は地域の自然・文化・危険・豊かさなど、  
五感を通して体感できる学びであり、  
決して、無駄な時間ではありません。



歴史学者であるヨハン・ホイジンガは、  
人間を「ホモ・ルーデンス」＝「遊ぶ生き物・人」とし、  
遊び・自然の重要性を次のように述べています。

「遊びとは文化よりも古く、それは、文化の中で遊びが発展したのではなく、遊びの中で文化が発展してきた。」

「自然はわれわれに遊びを、それもほかならぬ緊張、歓び、面白さというものをもった遊びを与えてくれたのである。」

『ホモ・ルーデンス』

しかし、このアンケート結果が示すように  
子どもの遊びは危機的な状況にあります。

そこで、ご自身の子ども時代の外遊びの思い出を振り返って  
いただき、ご自身が外遊びの価値を改めて確認していただくことが  
現状を打破する力になると思います。



# おわりに

「この**地域**は自然があるから大丈夫」

「**子ども**が遊べなくなっている」

「**時代**だから仕方がない」

こうした言葉を聞くたびに思うのです。

「この地域は？子どもが？時代だから？」

本当にこれで大丈夫なののでしょうか？

「昔の遊びは豊かだった…」と思えることは素敵なことです。

そしてその経験をもとに

今の子どもたちが「今が良い！」と思える

**“豊かな地域を自分たちでつくること”**

それが最も重要なことだと思います。

私たちは、子どもの外遊びが貧困化している現状に強い危機感を抱き、まちづくりを支援しています。

その一歩を、ともに踏み出しませんか。

一般社団法人

**プレーワーカーズ**

<http://playworkers.org/>

主催：一般社団法人プレーワーカーズ

監修・デザイン：千葉大学大学院園芸学研究科 木下勇研究室 寺田光成

イラスト：小原純 エルミロヴァ・マリア

